

小学校 高 学年< 5—15 >

学 年	5年	時 間	社会科 「情報化した社会とわたしたちの生活」	時 期	12月～2月	時 数	全16時間
単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・放送、新聞などの情報産業と国民生活との関わりに関心をもって意欲的に調べ、これらの産業が国民の生活に大きな影響を及ぼしていることを理解し、情報産業を通じた情報を有効に活用することができる。 ・情報化の進展が国民生活に大きな影響を与えていることや、普段だけではなく災害時の情報について欠かすことのできない大きな役割を担っていることが分かり、有効に活用できる。 						
資料・準備							

単元の中で、以下の防災視点についておさえる。

情報化した社会と自分たちの生活が大きくかかわっていることを分かりやすく学習させる。

- 防災に関連した情報がテレビ・ラジオで報道されること (経験を話させる)
 - ・天気予報、台風・竜巻情報、各種警報・注意報、緊急地震速報、津波予測情報 など

- 防災無線で速い情報収集ができ、情報を広く広報したり、対策・復旧作業に取りかかったりすることができる。

- インターネットで、防災に関連した情報を収集することができる。 (体験)
 - ・土砂災害警戒区域、土砂災害危険区域、浸水想定区域、地域の避難所 など

- 情報を自分の日々の生活に役立てることについて話しあう。
 - ・行事の前に、天気予報等を確認する。
 - ・雨具の準備をする。など

関連する 教科・領域等	
協力団体	鳥取地方気象台、鳥取県治山砂防課 など